

宮地小だより

11月
文責
八代市立宮地小学校
校長 嶋村 立馬

「み」みんななかよく 「や」 やりとげよう最後まで 「じ」 自分からすすんでがんばる宮地っ子

大切なことを学ぶ機会となりました!!

今年も気づけば11月も終わりに近づき、師走の足音が聞こえる季節となりました。ついこの前まで暑いと感じていましたが、季節の過ぎる早さを感じています。

11月19日(木)・20日(金)と、宮地小の6年生27名は、長崎に修学旅行に行ってきました。8月頃から新型コロナウイルス感染症が蔓延し始め、修学旅行に行けるのだろうか心配した日々が続きました。様々な行事が制限される中、保護者のみなさんの理解もあり、6年生みんなで長崎に修学旅行に行くことができました。やはり、現地での学習は得がたいものがあります。子どもたちは、長崎で多くのことを学びました。私にとっても、子どもたち一人一人を知ることができる、とてもよい機会となりました。保護者のみなさんをはじめ、様々な方々のご協力と、修学旅行に無事にいくことができたことに、心から感謝したいと思います。



社会科見学旅行に行ってきました

4年生が11月12日(金)に、3年生が11月25日(木)に社会科見学旅行に行ってきました。4年生は通潤橋や熊本県立博物館を見学し、先人の知恵やくらしの工夫を学びました。また、プラネタリウムでの星空観察も行って、昼は二の丸公園でたくさん遊びました。3年生は消防署やお菓子工場、ゆめタウンの裏側を見学し、身の回りの仕事への理解を深めました。また、八代市立博物館では妙見祭や昔の道具について学びました。3年生も4年生も、学校を離れての学習ということで、出発のときから笑顔でいっぱいでした。そして、それぞれの場所で、しっかり学ぶことができたようです。やはり、実際に目で見て、耳で聞いて学ぶ学習、とても大切ですね。ご協力いただきました保護者の皆さん、ありがとうございました。



【通潤橋で周辺の地形を調べる4年生】



【彦一本舗でお菓子作りを見学する3年生】

「わ・わ・わっ学習発表会」おまちしてます!!

12月3日(金)に宮地小「わ・わ・わっ学習発表会」を実施します。人権月間だった11月、子どもたちは思いを伝えあう学習に取り組んできました。それぞれの学年で、教材について学んだ後、自分たちを振り返って考えました。涙を流しながら、自分の思いを絞り出す子がいて、それを聞いて、やはり涙ながらに思いを返す子どもたち、見ていてとても胸が熱くなりました。

学習発表会では、授業で学んだことや学年の行事を通して学習したことについて発表します。当日は午後から、2・3・4年生は学年行事が行われ、その後、学級懇談会が予定されています。午前から午後にかけての日程となりますが、ご参観、そしてご参加いただければと思います。保護者のみなさん、お待ちしております。

「わ・わ・わっ学習発表会」

- 日時 12月3日(金)
- 場所 宮地小体育館
- 学習発表会日程
 - 開場 10:20～
 - 低学年の部 10:40～11:10
 - 中学年の部 11:20～11:50
 - 高学年の部 12:00～12:30
- 学級懇談会 14:50～15:30

行動を見直す機会に ～作品との対話を通して～

以前、5年生の国語の時間に、「やなせたかし・～アンパンマンの勇気～」という授業を見せてもらったことがありました。やなせたかしさんがアンパンマンを生み出すことになった経緯が書かれている文章でした。戦争の中、弟さんをなくし「この世に正義はないのだろうか」と考え続けたやなせさんでしたが、おにぎりを分け合っている幼い兄弟を見て、「本当の正義とは、おなががすいている人に食べ物分けてあげることだ」と気づきます。そして生まれたのが、困った人や傷ついた人がいると、自らの顔を食べさせるアンパンマンでした。「正義を行い、人を助けようとしたら、自分も傷つく覚悟をしなければならない」というやなせさんの信念にふれ、教材から、子どもたちは多くのことを学ぶと思います。

それぞれの学年で、発達段階に応じて、様々な文学作品にふれる学習を行っていきます。文学作品を学ぶということは、作品と対話するということです。子どもたちには、学習を通して、自分の心をしっかりと見つめることの大切さに気づいてほしいと思っています。自分の心を見つめるということは自分自身と対話するということです。子どもたちには、自分を振り返ることで自分の行動を見つめ、やるべきことにしっかり取り組めるように、そして、近くにいる人を大切にすることできるようになってほしいと思います。ただ、自分を振り返るということはとても難しいことです。子どもたちには作品との対話を通して、自らの心を見つめ、自分を振り返る機会にしてくれることを願っています。

あーれるな
かんぼるんだ
勇気の花が
ひらくとさ
ほのか空を
とんとんていなかう
君を助けるから



被災地の子どもたちに送られた
やなせさんのメッセージ
(5年生の教科書より)

図書室に「みらい文庫」ができました

今、宮地小の図書館の一角に「みらい文庫」と銘打った本棚が新しくできています。この文庫に並ぶ本は、宮地小学校を卒業され、今はお亡くなりになられた石本カズエさんから寄付していただいたものです。

「みらい文庫」という名前は、図書委員の子どもたちが中心となって考えてくれました。子どもたちも、「みらい文庫」の開設前から、「早くかりたいです」と楽しみにしていました。今、たくさんのお子たちが本をかりています。子どもたちからは、「おもしろかった。またかりにきます。」「楽しそうな本でいっぱい、かりるのが楽しみです。」といった声が聞かれています。

石本さん、本当にありがとうございました。